

「兵庫県農業賞」を受賞

農林水産業の経営や技術に優れ、長年にわたって産業振興に貢献し、その功績が顕著な個人や団体を表彰する「兵庫県農林水産賞」の表彰式が12月6日、神戸市の兵庫県公館で行われ、浅井信年さん（中瀬）が農業賞を受賞されました。

浅井さんは、昭和45年に本格的な鉢花生産を始め、昭和52年には農事組合法人を設立。シクラメン、リンドウ、アッツザクラのブランド化を図られました。また、兵庫県花卉協会の理事を務められ、後継者育成にも大きく貢献されています。



◀ 浅井さんご夫妻

「環境保全功労者知事表彰」を受賞

環境の保全に対して功労のあった個人や団体を表彰する「環境保全功労者知事表彰」の表彰式が11月17日、神戸市の兵庫県公館で行われ、養父市からは尾崎弘明さん（大屋町樽見）と盛谷浩さん（八鹿町八鹿）のお2人が受賞されました。

尾崎さんは、自然環境保全を目的とした「南但馬の自然を考える会」の設立に先導的な役割を果たしたほか、地域の小中学校などで自然観察の指導を行うなど、自然環境の保全とその啓発に尽力されました。

盛谷さんは、氷ノ山後山那岐山国定公園を中心に、ミツガシワ群落の保護や公園利用者への指導を行うなど、自然環境の保全と適切な活用のために尽力されました。

「統計調査」功労者表彰を受賞

昨年11月27日、平成19年度兵庫県統計功労者表彰式が神戸市の兵庫県公館で行われました。養父市から次の皆さんが表彰を受けられました。

【総務大臣表彰】

高岡けい子さん（八鹿町八鹿、平成18年事業所・企業統計調査）

【知事感謝】

池田正春さん（三宅、各種統計調査）、宇都良栄子さん（広谷、同）、高階秋弘さん（朝来市和田山町秋葉台、同）、谷口珠子さん（八鹿町宿南、同）

現在、兵庫県立考古博物館が、北近畿豊岡自動車道八鹿インターチェンジ建設工事に伴う文化財発掘調査を高柳と米里の間に広がる水田地帯で行っています。昨年12月8日には、現地説明会が行われ、70人が参加しました。

発掘された遺跡は、縄文時代早期にあたる約8千年前に土を掘った穴が1カ所、古墳時代の3世紀から6世紀の竪穴住居跡が8棟、奈良時代に作られた掘立柱建物跡が21棟、さらに古墳時代から平安時代にかけて土器を作るために粘土を掘った採掘坑などです。



まちの文化財 ④ 高柳ナベ遺跡の発掘調査

ナベ遺跡で発見された竪穴住居跡は、上から見た形が円形、多角形（六角形）、方形の3種類があります。円形住居跡は、古墳時代前期にあたる4世紀に造られ、直径は10・3メートルあります。中央に円形の穴を掘り、その周囲に4本の柱を建て、さらに外側に6本の柱を置いて屋根を支えます。

方形住居跡は、平面が275センチ×300センチの規模で、5世紀後半に造られました。東側の壁の中央に竈を作り、焚き口は石で支えて住居跡の外側に煙抜き穴の穴を造っています。

兵庫県立考古博物館の池田征弘調査員は、今回見つかった古墳時代の竪穴住居跡は、県下で最大級のもので、古墳時代前期になると畿内地域では円形から方形の竪穴住居に変わりますが、但馬では山陰地域との交流によって、円形の住居が造り続けられました」と解説しました。

ナベ遺跡の正面にある但馬農業高等学校付近には、県指定文化財の国木とが山古墳群があります。ナベ遺跡から米里、朝倉付近には古代集落が広がっていますが、この付近で生活していた人々が国木とが山古墳群を造ったと考えられます。

（教育委員会社会教育課）